

企業会計の予算額

支出予算総額 81 億 3,378 万円

◆下水道事業特別会計◆

- 収益的収支
 - 【収入】 7 億 8,462 万円
年間有収水量 1,642 千m³と見込んでいます。
 - 【支出】 7 億 8,462 万円
普及促進費・維持管理経費・減価償却費等
- 資本的収支
 - 【収入】 4 億 5,067 万円 企業債・国庫補助金等
 - 【支出】 6 億 2,671 万円 建設改良費 企業債償還金等

◆介護老人保健施設事業特別会計◆ (さんとおひあ)

- 収益的収支
 - 【収入】 6 億 1,600 万円
年間の入所者数（短期入所を含む）35,000 人、通所者数 4,700 人と見込んでいます。
 - 【支出】 6 億 1,600 万円
給与費・材料費・経費・減価償却費等
- 資本的収支
 - 【収入】 3 億 1,884 万円 企業債、出資金等
 - 【支出】 3 億 4,087 万円 施設整備費・企業債償還金等

◆市立病院事業特別会計◆

- 収益的収支
 - 【収入】 46 億 7,673 万円
年間入院患者数を 53,290 人・外来患者数を 96,400 人と見込んでいます。
 - 【支出】 50 億 4,849 万円
給与費・材料費・経費等
- 資本的収支
 - 【収入】 4 億 1,022 万円 企業債・国庫補助金等
 - 【支出】 7 億 1,709 万円 医療機器等購入・企業債の償還金等



※各企業会計において、収入に対する不足がある場合は内部留保資金で補い、収支バランスを図ります。

● 一般会計歳入予算の内訳 ●

- 自主財源 55 億 5,343 万円
市が自ら収納、徴収できる財源
- 交付される財源 148 億 3,657 万円
国・県の基準により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源
- 市税 24 億 7,556 万円
市市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税
- 地方交付税 85 億 6,000 万円
所得税等、国税の一部から地域にかかわらず、一定の行政サービスを提供できるよう国から配分されるお金
- 国庫支出金・県支出金 38 億 7,876 万円
市が行う特定の事業に対し、国や県が交付するお金
- 市債 12 億 1,900 万円
事業等を行うために資金を外部から借りるお金
- 地方消費税交付金 6 億 9,188 万円
消費税 10%のうち地方消費税 2.2%分の 1/2 が交付されるお金
- 地方譲与税 2 億 4,798 万円
自動車重量税等を原資に、市道の延長・面積に応じて譲与されるお金
- その他 2 億 3,895 万円
ゴルフ場利用税交付金 株式等譲渡所得割交付金 等
- 繰入金 (7.8%)
- 使用料及び手数料 (1.4%)
- 諸収入 (1.7%)
- 分担金及び負担金 (0.9%)
- その他自主財源 (2.6%)
- 自主財源 (27.2%)
- 交付される財源 (72.8%)
- 市税 (12.1%)
- 国庫支出金 (19.0%)
- 市債 (6.0%)
- 地方消費税交付金 (3.4%)
- 地方譲与税 (1.2%)
- その他交付される財源 (1.2%)
- 総務費 (12.2%)
- 民生費 (30.8%)
- 衛生費 (10.2%)
- 農林水産業費 (4.6%)
- 商工費 (3.9%)
- 土木費 (10.6%)
- 消防費 (5.3%)
- 教育費 (8.0%)
- 公債費 (12.8%)
- 災害復旧費・予備費 (0.9%)
- 議会費 (0.7%)
- 民生費 (30.8%)
- 衛生費 (10.2%)
- 農林水産業費 (4.6%)
- 商工費 (3.9%)
- 土木費 (10.6%)
- 消防費 (5.3%)
- 教育費 (8.0%)
- 公債費 (12.8%)
- 災害復旧費・予備費 (0.9%)

● 一般会計歳出予算の内訳 ●

- 議会費 1 億 3,388 万円
議会運営のために使うお金
- 商工費 7 億 9,611 万円
商工・観光事業等に使うお金
- 土木費 21 億 5,276 万円
道路・公園整備・都市計画・住宅管理等の事業に使うお金
- 消防費 10 億 7,554 万円
火災・救急・風水害・地震等に対する事業に使うお金
- 教育費 16 億 3,879 万円
小中学校・生涯学習・スポーツ振興・文化財保護等の事業に使うお金
- 公債費 26 億 202 万円
市債（市の借金）を返済するために使うお金
- 災害復旧費・予備費 1 億 8,842 万円
災害によって生じた被害の復旧に使うお金等
- 議会費 (0.7%)
- 総務費 (12.2%)
- 民生費 (30.8%)
- 衛生費 (10.2%)
- 農林水産業費 (4.6%)
- 商工費 (3.9%)
- 土木費 (10.6%)
- 消防費 (5.3%)
- 教育費 (8.0%)
- 公債費 (12.8%)
- 災害復旧費・予備費 (0.9%)

特別会計の予算額

会計名	令和 8 年度予算額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	250 万円
市営霊苑事業特別会計	680 万円
国民健康保険事業特別会計	38 億 9,490 万円
介護保険事業特別会計	41 億 5,200 万円
後期高齢者医療事業特別会計	8 億 2,750 万円
合計	88 億 8,370 万円

未来を創るために力を蓄える予算

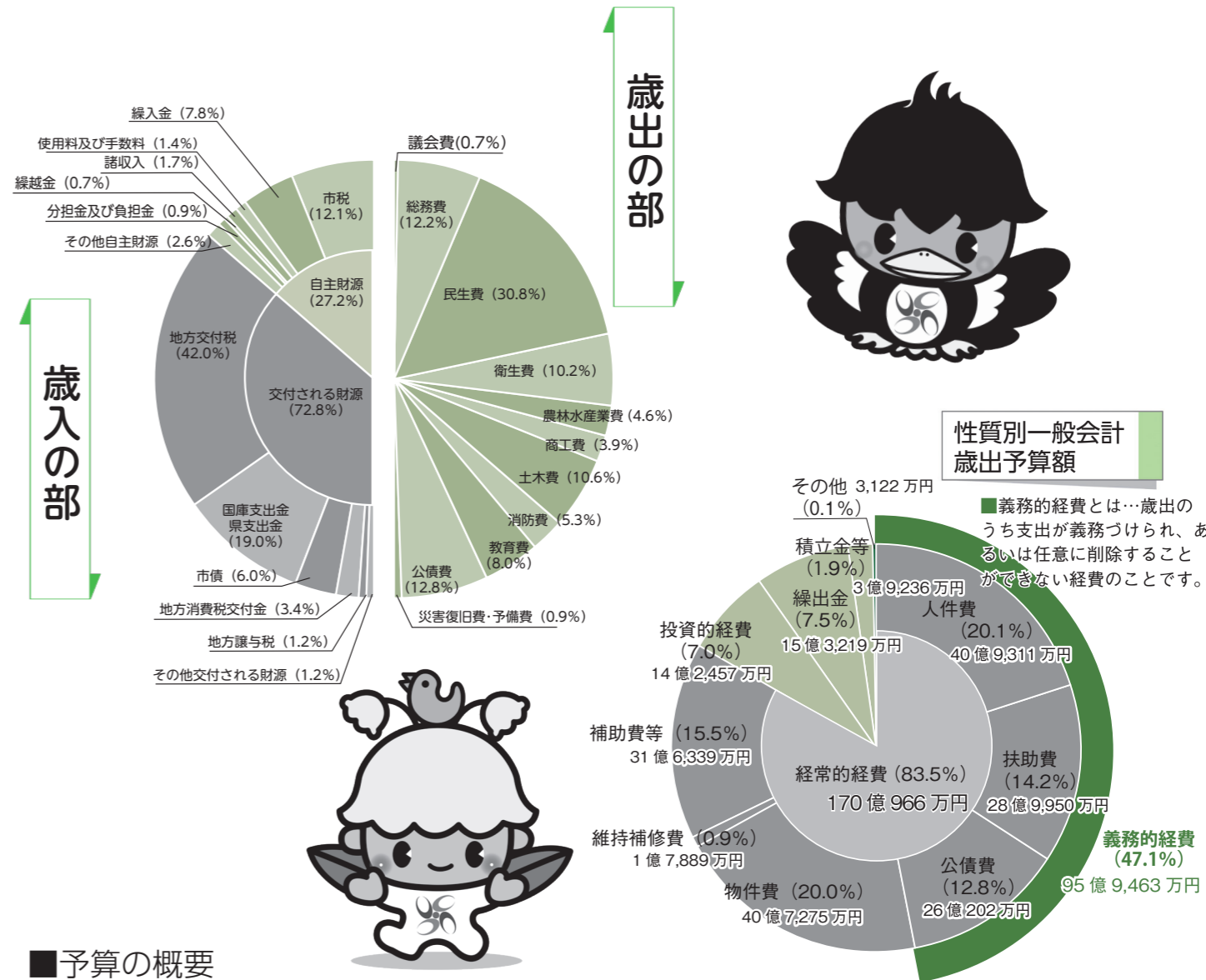
令和 8 年度一般会計予算は、203 億 9,000 万円（前年度より 9.8%減少）

問 財政課（☎ 82・1305 / IP ☎ 88・9071）

当市は市制 20 周年の節目を新たなスタートとして、今後も大和高原の中心都市として持続可能な発展を続けていくために、行財政改革を進めながら必要な事業を選択し、集中実施していく方針です。特に過去から先送りされてきた事案については、現市政において解決への道筋を明確にしていきます。

令和 8 年度は「第 2 次宇陀市総合計画後期基本計画」の初年度であり、将来にわたり全ての世代が安心して暮らせるまちづくりを目指して、総合計画に基づく施策を着実に推進するための準備を整える期間としています。

そのため、令和 8 年度当初予算は、物価高騰に配慮しつつ、将来に向けて高く跳躍するために低く屈み力をためるという姿勢で「未来を創るために力を蓄える予算」と位置付けました。



■ 予算の概要

一般会計の予算総額は、前年度の当初予算額との比較で 22 億 895 万円（△ 9.8%）減の 203 億 9 千万円の当初予算となりました。

歳入では、地方交付税が最も多く、続いて国・県支出金、市税、繰入金の順となっています。総収入の 72.8%にあたる 148 億 3,657 万円は国や県等からの交付される財源であり、自主財源である市税や使用料、負担金、財産収入などは、総収入の 27.2%となっています。

歳出では、民生費が最も多く、次いで公債費、総務費、土木費、衛生費の順となっています。

③ 活力あるまち

■オーガニックビレッジ推進事業 13,710 千円

「みどりの食料システム戦略」に基づき、全国で初めてオーガニックビレッジを宣言した宇陀市を有機農業のブランド産地へ発展させることで、消費拡大、産地形成、農業所得の向上を目指します。



■薬草を活用したまちづくり 8,947 千円

民間と連携し、大和当帰等の薬草を全国にPRし、薬草のまちづくりを推進します。



■伊勢本街道魅力創出事業 7,460 千円

■森林環境譲与税推進事業 99,619 千円

■有害鳥獣対策の推進 15,530 千円

④ 生涯輝くまち

■男女共同参画計画策定事業（第3次）（新） 3,557 千円

男女共同参画推進施策を計画的に実施するために、宇陀市における男女共同参画社会の形成の促進に関する施策について、令和10年度から10年間の第3次計画を策定します。

■人権啓発・人権教育関係事業 8,176 千円

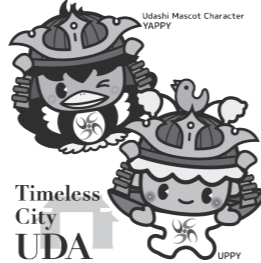
■こども園・保育園・小中学校給食費無償化 93,124 千円

子育てしやすいまちづくりを実現するため、子どもたちの健やかな発育・発達の重要な要素となる「食」を市が全面的に支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。



■大河ドラマ「豊臣兄弟！」を活用した誘客促進事業（新） 5,943 千円

現在放送中のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」において、奈良県内が主要舞台になることを契機に、全国への情報発信を通じて誘客・宿泊滞在を促進することを目的として事業を実施します。



■中山間地域等直接支払交付金事業・多面的機能支払交付金事業 73,658 千円

中山間地域等において、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業の生産条件に関する不利を補正する支援を実施し、多面的機能の確保を行います。また、地域共同による農地や農業用水等の資源の保全管理活動、農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路や農道・ため池等、施設の長寿命化を図る取り組みに対して支援を行います。

■企業誘致推進事業 11,427 千円

■毛皮革産業振興事業 109,520 千円

■文化会館施設長寿命化改修事業 41,547 千円

平成2年10月竣工の文化会館は35年が経過し、設備等において老朽化が進んでいる状況であるため、長寿命化に対応する修繕により施設の適正な運営と利用者の安全安心・快適な施設利用を目指します。

■スポーツ振興事業 8,894 千円
近畿高等学校駅伝競走大会や宇陀シティマラソンなど、市内外から参加者や団体を募り、交流人口の増加を図りスポーツ振興のまちづくりを進めます。

■ソーシャルアントレプレナーシップ 人材育成事業 20,801 千円

■中学校部活動地域移行事業 6,690 千円

■「生きる力」と「夢」を育む教育の推進 20,541 千円
子どもたちに基礎的な知識・技術を定着させ、これらを活用し課題解決できる思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学ぶ意識を養います。また、命を重んじ、思いやりのある心を育てます。

令和8年度の主な事業

① 健幸なまち

■生活支援ウッピー商品券配布事業（新） 289,767 千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策として市民に対しウッピー商品券を配付し、生活支援を行います。



■認知症の不安ゼロのまち推進事業（新） 15,660 千円

宇陀市・宇陀市立病院・企業・研究機関が連携し、認知症の早期発見と予防を推進するとともに、認知症になった場合でも住み慣れた地域で支え合いながら尊厳と希望をもって暮らすことのできる「宇陀モデル」を開始します。

■障がい者計画策定事業（新） 7,547 千円

障がい者施策の基本指針として、改めて総合的な視点から施策の体系化を図るとともに、障がい福祉の充実にむけ、各種施策の方向性を示すことを目的とし計画を策定します。

② 暮らしやすいまち

■道路メンテナンス事業（橋梁包括的管理業務）（新） 304,700 千円

宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村の1市3村が協力を行い「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の取り組みを行うことにより、メンテナンスの推進や技術系職員不足の対応を推進します。



■榛原駅北口連絡歩道橋改修事業（新） 18,931 千円

歩道橋施設点検に基づき、連絡歩道橋の安全性の確保および長寿命化を目的とした更新を行います。

■効果的な道路改良と補修の実施 273,000 千円

■下水道施設点検および更新事業 260,500 千円

■乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）（新） 16,914 千円

生後6か月から満3歳未満で保育園等に通っていない子どもを育てている家庭が就労要件等を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度となる乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を令和8年度から実施します。

■宇陀市こども計画策定事業（新） 8,659 千円

令和7年度から令和11年度までの子ども・子育て支援事業計画に「子ども・若者計画」および「子ども貧困対策計画」を横断的かつ包括的に整理した「宇陀市こども計画」を策定し、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

■妊娠・出産・産後サポート事業 48,276 千円

妊娠期からの母と子の健康を身体的、精神的に支え、安心して子育てができるよう必要な支援を行います。

■がん予防対策の推進 42,186 千円

■都市計画マスタープラン改定事業（新） 5,440 千円

近年の社会状況の変化等を踏まえ、宇陀市の長期的視点に立った都市の将来像を改めて確認し、持続可能なまちづくりの基礎とするため、平成29年3月に策定した宇陀市都市計画マスタープランの改定を行います。

■地域公共交通の確保 98,788 千円



■消防車両購入事業 34,594 千円

■防災情報等配信事業 21,446 千円

⑤ 自然豊かなまち

■宇陀地域ごみ処理広域化推進事業（新）
26,705 千円

廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図ります。



■一部事務組合負担金 332,946 千円

近隣自治体（曾爾村・御杖村・東吉野村）と一部事務組合を形成し、廃棄物について共同処理を行うことで、事務効率の向上と経費の削減を図ります。

■合併処理浄化槽整備促進事業
10,319 千円

⑥ 地域力を発揮するまち

■ぬく森の郷複合化整備事業（新）
59,070 千円

室生振興センター機能とぬく森の郷機能の複合化を図り、室生地域のまちづくりの拠点施設として整備を行います。



■公共施設マネジメント推進事業
9,705 千円

■ふるさと応援寄附金事業 142,342 千円

■マイナンバーカード普及事業
28,489 千円

■カーボンニュートラル推進事業
19,130 千円

令和6年3月に策定した宇陀市地球温暖化対策実行計画に基づき、市内の温室効果ガスの削減に取り組みます。

■長寿命化計画に基づく公園施設整備事業
（平成榛原こどものもり公園）
66,561 千円



■平成榛原こどものもり公園民間活力活用事業
19,019 千円

■天然記念物保存事業 3,318 千円
市内に生息・自生する特別天然記念物等の生育調査や環境整備を行い、保護・再生を図ります。

■国民健康保険事業の推進
823,411 千円

■後期高齢者医療広域連合事業の推進
811,416 千円

■宇陀市連合自治会支援事業 16,688 千円
自主的な住民意識の確立および自治意識の向上を図るため、連合自治会の健全な育成と円滑な運営を支援します。

■自治会活動支援事業（地域の草刈り）（新）
1,000 千円
人口減少、高齢化に伴い課題となっている地域での草刈りについて、自走式草刈り機を貸し出すことで負担の軽減を図り地域における自主的な活動を支援します。

■まちづくり協議会支援事業 30,582 千円
それぞれの地域の特徴を生かして地域が主体となって身近な課題解決に取り組むまちづくり協議会の活動を支援します。

■集会施設等コミュニティ施設整備事業
7,791 千円

宇陀市と類設計室が 包括連携協定を締結

～地域資源×民間の知見で持続可能なまちづくりへ～

問 政策推進課 ☎82・3910 / IP ☎88・90094

ID 0023111

市は、3月30日（月）株式会社類設計室と、地域資源を生かした学びの環境の充実および地域価値の向上を目的とした包括連携協定を締結しました。本協定は、人材育成や農業振興、まちづくり、実証事業の推進等の分野で連携し、地域から新たな人材と産業を生み出すことを目指すもので、「地域の資源」と「民間の知見」を掛け合わせ、持続可能な地域社会をデザインしていくことを目的としています。

市が有する豊かな自然・歴史・文化や地域コミュニティと、類設計室が持つ教育・人材育成、農業・建築事業創出のノウハウを融合させ、新たな価値創出につなげていきます。

具体的には、探究型学習やソーシャルアントレプレナーシップ教育の推進、農業の担い手育成やスマート農業の展開、共創拠点「VUTAI」を活用したまちづくり、産学官民連携による実証事業の創出などに取り組みます。

今後は「VUTAI」を核に多様な主体が交わる共創の場を形成し、挑戦が生まれ続ける地域づくりを進めるとともに、学びと産業が循環する持続可能な地域モデルの構築を目指してまいります。



菟田野中学校男子バレーボール部 第58回近畿中学生 バレーボール選抜 優勝大会優勝！

問 教育総務課 ☎82・3973 / IP ☎88・92509

菟田野中学校の男子バレーボール部は、3月30日から31日に大阪市で開催された「第58回近畿中学生バレーボール選抜優勝大会」に出場し、13年ぶり11回目の優勝という輝かしい成績を収めました。近畿地方各府県の代表である強豪校が集まる大会において、選手たちはその勢いに負けることなく、日頃の鍛錬で培った高度な技術と強い絆で結ばれたチームワークを余すところなく発揮。熱い戦いを繰り広げ、見事栄冠を勝ち取りました。

この結果は、選手一人ひとりの努力はもちろん、チームが丸となり励まし合い、課題を乗り越え続けてきた成果の結晶です。優勝という快挙を成し遂げた選手たちに心からの祝福を送るとともに、これまで支えてくれた指導者、保護者の皆さまにも敬意を表します。

選手のおめでとうございます。今後さらなる高みを目指して練習に励み、さらなる飛躍を期待しています。



未来へつなぐ宇陀のわく誰もが輝く宇陀市を目指して 第2次宇陀市総合計 画後期基本計画を策 定しました

問 企画課 ☎82・1362 / IP ☎88・90074

3月2日（月）、宇陀市総合計画審議会の伊藤忠通会長（奈良県立大学名誉教授）、井上源一副会長（宇陀市観光協会会長）から金剛市長に、第2次宇陀市総合計画後期基本計画の答申書が手渡されました。

この計画は、令和8年度から4年間の市政運営の指針となるもので今後のまちづくりの方向性を示した計画です。計画の策定にあたっては、市民アンケートや意見募集などを通じて、多くの方々から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今回策定した計画の実現に向け取り組みを推進していきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

本紙に概要版を折り込みしています。また、今回お子さまにも市の取り組みを理解していただくために、小学生向けの子ども版も作成しました。市ホームページに全体版と併せて掲載していますのでご確認ください。



▲左から伊藤会長、金剛市長、井上副会長



▲子ども版 PDF



▲宇陀市後期基本計画

地域の「身近な相談相手」 民生委員・児童委員

問 厚生保護課 (☎ 82・2221 / IP ☎ 88・9079)

皆さんは民生委員・児童委員をご存じですか？

少子高齢化や核家族化の進行により地域から孤立し人と人とのつながりが薄れてきている中で、地域とつながりながら、子どもから高齢者一人ひとりの悩みごとや心配ごとに耳を傾け、地域福祉の担い手として活躍する民生委員・児童委員の活動を紹介します。

市では、一人暮らしの高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛け、経済的困窮や医療・介護の相談に応じる地区担当民生委員・児童委員が88人、妊娠や子育てへの不安など子どもや子育て世帯の支援を専門に担当する主任児童委員が8人活動されています

こんな相談を受けています

- ・一人暮らしで不安がある
- ・家族の介護のことで悩んでいる
- ・経済的に生活が苦しく困っている
- ・収入が減ってしまい生活が大変
- ・子どものいじめや不登校が心配
- ・子育ての悩み

地域のパイプ役として

市民の困りごとを解決するため、必要に応じて市役所や社会福祉協議会、学校などの専門機関とのパイプ役を担っています。

※民生委員・児童委員は特別職の公務員として 活動上知りえた情報について守秘義務が課されています。この守秘義務は、委員退任後も引き続き課されます。

各地区において、月に一度「心配ごと相談」を開催しています。予約不要ですのでお気軽にお越しください。詳しくは広報紙33ページまたは市ホームページをご覧ください。

榛原地区

榛原地区では、現在33人の民生委員・児童委員がともに、地域の皆さんの悩みの改善をお手伝いしています。お気軽にご相談ください。

室生地区

前川 純一と申します。皆さんのお力に少しでもなればと思います。どうか、よろしくお願いします。

菟田野地区

皆様の声を大切に活動します。地域で見かけた際は、気軽にお声がけいただけるとうれしいです。

大宇陀地区

会長の巽 周二です。大宇陀地区では25人の委員が担当地域で笑顔と熱意を持って地域福祉の充実に努めて参りますのでよろしくお願いします。

各地区民協会長



民生委員・児童委員のマーク

幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

行政委員の方々を紹介いたします

問 総務課 (☎ 82・1302 / IP ☎ 88・9068)

■選挙管理委員会委員

市長および市議会議員の選挙に関する事務を管理するほか、国政選挙を含む全ての選挙について選挙人名簿の作成を行い、投票票を行います。

■選挙管理委員会補充員

選挙管理委員会の委員に欠員があるとき、選挙管理委員会委員長が補充員の中からこれを補充します。

(選挙管理委員会補充員) ※敬称略
西岡博文 細田文代
松岡清之 田中香里

■公平委員会委員

「地方自治法」・「地方公務員法」に基づき、職員の勤務条件に関する措置の要求や不利益処分等を審査し、必要な措置を講じます。

松井 利文 (※敬称略)

■監査委員

「地方自治法」に基づき、市の行財政運営が適正に行われているかを監査します。

籠谷 順司 (※敬称略)

■教育委員会委員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置される教育委員会の構成員です。

教育委員会では基本方針を決定し、それを教育長が事務局を指揮監督して執行します。

■教育委員会委員



南浦 孝代

【職務代理】



内田 千鶴子



北森 公靖

【委員長】



稲本 喜典



谷口 康夫

【選挙管理委員会委員】

電気



高い位置で下に向けて右手親指と中指で円を作り、中指を2回はじく

テレビ



甲を前に向けて開いた両手の指先を向き合わせ、同時に上下させる

掃除機



電気掃除機の柄を持って床を掃除するしぐさをする

今月は「電気屋さん」で使う手話を覚えましょう。

冷蔵庫



寒そうな表情で、脇をしめ両手を握って身体を震わす

故障



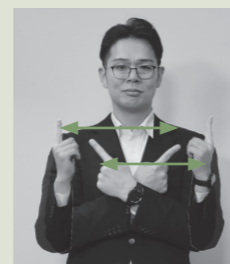
軽く握った右手で扉を開けるように手前に引く

修理



親指側を付け合わせた両手拳で折るしぐさをする

修理



立てた両手人差し指を左右から素早く交差させる動きを繰り返す



第70回

問 介護福祉課 (☎ 82・3375 / IP ☎ 88・9088)